

9月20日（金曜日）から23日（月＝秋分の日）まで、

墓地では花と線香を用意しております。

声を出して元気になる

9月25日 水曜日 PM1:30～3:00

募

集

日時 9月25日（水曜日）
午後1時30分から3時まで

会場 松岩寺（本石1-102）

会費 五百円（当日、納めてください）

指導 加藤純子

お求めいただいた冊子『愛唱名歌』を
ご持参ください。お持ちでない方は、
当日お求めください。（一冊千円）

前日までに左記へ電話・FAX・
Eメールで申し込んでください

【申込先】 松岩寺

TEL 048(522) 1812
FAX 048(522) 9189
Eメール chief@shoganji.or.jp

秋からの新シリーズ

がんばらずに 自分でカラダをラクにする ～ 体調改善運動 ～

コンディショニング教室

9/7(土)、10/5(土)、11/2(土) 13:30～15:00

場所: 松岩寺文化ひろば

約90分/受講料 ¥1000

首～肩こり、足～ひざ～股関節の不調・むくみなど、カラダの気になる部分を
むりなく自分で改善する ゆる～いエクササイズです。どなたもお気軽にどうぞ！

・服装/ゆったり動けるもの(ジャージなど。ジーンズ不可) ・持ち物/バスタオル×2枚

インストラクター≫ 米山 美咲 (日本体調改善運動普及協会認定 プロフェッショナル・トレーナー)

首

肩

ひざ

むくみ

11/7 花園会・微笑会地方大会

松岩寺の本山は京都にある妙心寺で
す。その妙心寺に花園会という会があ
ります。妙心寺派に属する寺の檀家さ
んの会です。その花園会の地方大会が、
十一月七日（木曜日）に本庄市民文化
会館で開かれます。同封した「ピー」を、
ご覧ください。参加希望の方は、申し
込んで下さい。

木曜日の行事ですが、奮ってご参加
ください。

10/16～17 微笑会「信を深める旅」

本山妙心寺の文化財保護を目的とし
た親睦の会に微笑会があります。微笑
会については、同封した印刷物に、説
明があります。

八月十五日のお施餓鬼の法要に参列
された方にご案内した微笑会「京都・
冷泉家拝観」の旅は、定員に達しまし
た。

住職が同行しますが、折角の機会だ
から、冷泉家文書のことなど、出発前
に少し勉強しなくては、と思っ
ている
新秋です。

不連続シリーズ「見つけた」

今秋も彼岸の入りから中日まで、墓地では生花と
お線香を用意しています。現在、墓参用の花は寺が
直接「花長」さんに注文しています。

記録を見ると、平成二十年の秋彼岸から、色とり
どりの墓参用の花束に混ざって、シキミを主体とし
た緑色の花束を用意しています。なぜならば、炎天
下では、色とりどりの花束はすぐに枯れてしまいま
すが、シキミを主体とした束は、しばらく常緑を保
ちます。しかも、日数がたつと、色とりどりの花束
は腐るとい感じですが、シキミの束は凜として枯
れる感覚です。そのうえ、香気から花瓶の水も長持
ちします。

良いことづくめなのですが、松岩寺の墓地で花を
求める方には、地味すぎるのと馴染みがないのに加
えて、住職の粋な趣味が理解されず、評判が悪いです。
中には、大変喜んでくれる方もおられます。喜んで
くれる方の出身は、だいたい西日本です。どこが境
界線かわかりませんが、名古屋以西の葬儀の供花と
いえばシキミでした。

「シキミ」とも「しきび」ともいいますが、日本国
語大辞典（小学館刊）によれば、「しきび」は岩手・
仙台・栃木・埼玉その他の方言で、たたくは、「し
きみ」のようです。「モクレン科の常緑小高木。各地
の山林に生え、墓地などにも植えられる」と辞典は
説明してくれます。



しきみ = しきび = 密

街かどに禅を探し現代に仏教を見つける

不連続シリーズ

見

つけた!

今の熊谷では馴染みがないシキミですが、以前
は身近な樹木だったようです。

たとえば、松岩寺の大原墓地内でも、古くから
の旧家の墓所には、シキミの木が植栽されていま
す。墓参のついでに、探してみても！

あるいは、私の知人に皇居にも庭石を納める有
名な石材店のご子息がいます。自宅を新築する時
にお母さんからの厳命で、庭にシキミを植えまし
た。お仏壇用と墓参用にするためです。今では、
小さかったシキミも大きくなって、小枝を伐つて
亡き両親の墓参に青山霊園へ行くとききました。

また、平安時代の『源氏物語』には、光源氏が
出家した朧月夜への消息（ラブレター）をつける
枝にもちいたという一節もあるから、歴史的にも
由緒正しいのです。

ただし、春先になる実には猛毒があるから、絶
対に食べたらないで！もつとも、毒があるから
こそ、野獣の侵入を防ぐために墓所に植えたので
す。むかしの人はほんとうに智慧があるな、と感
心するばかりです。

以上のような、由緒と効用があるシキミです。
地味で馴染みがないからと言って敬遠しないでく
ださい。正月の松飾りの代用品にシキミを使う地
方もあるといえますから、常緑の緑に永遠の「い
のち」を見つけてください。

今年の彼岸も、何束か墓地に用意しておきます。